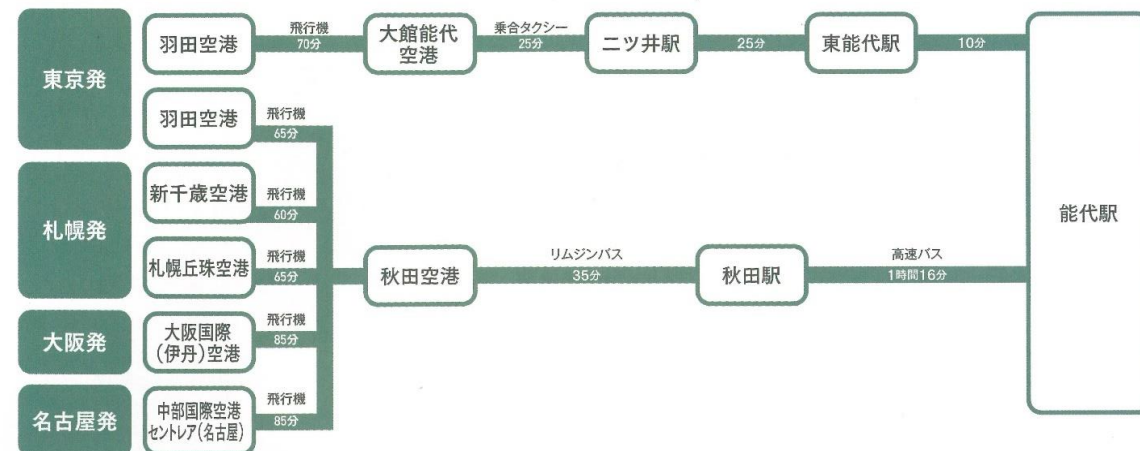
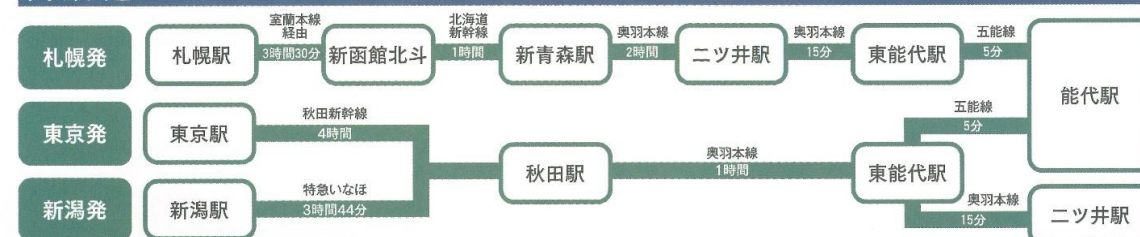


能代市へのアクセス ACCESS TO NOSHIRO CITY

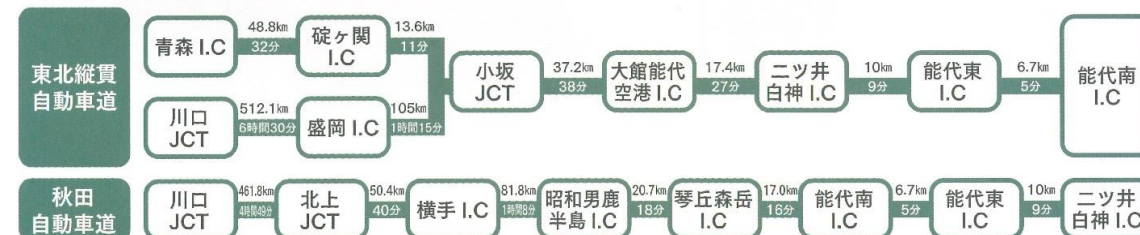
飛行機



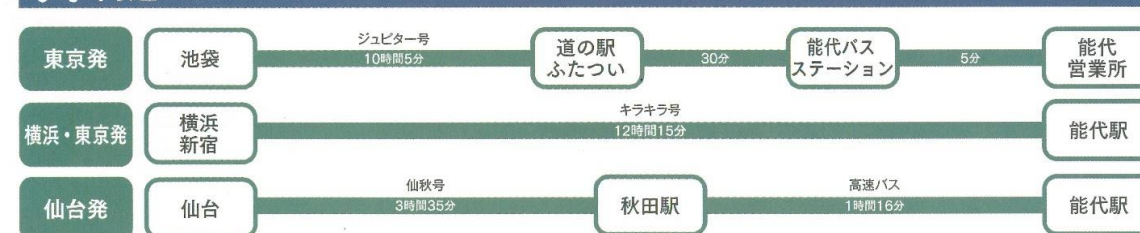
鉄道



高速道路



高速バス



※時間は目安です。交通事情により異なる場合があります。



秋田県 能代市

<https://www.city.noshiro.lg.jp/>
あ！きたのみち（秋田県北地域の紹介動画）<http://akita-north-info.jp/>

観光振興課

〒016-8501 秋田県能代市上町1-3
TEL 0185-89-2179 FAX 0185-89-1776
E-mail kankou@city.noshiro.lg.jp

NPO法人 能代観光協会

〒016-0831 秋田県能代市元町14-40（JR能代駅構内）
TEL 0185-88-8802 FAX 0185-88-8803
E-mail welcomenoshiro@shirakami.or.jp
URL <https://welcomenoshiro.com/>

NPO法人 ニツ井町観光協会

〒018-3102 秋田県能代市ニツ井町小鑿字泉98-1
TEL 0185-73-5075 FAX 0185-73-4081
E-mail futatsui-kankou@shirakami.or.jp
URL <https://futatsui.com/>

掲載情報は令和5年7月現在のものです。内容につきましては変更となる場合もありますので、ご利用の際は事前にご確認ください。

令和5年7月改定

秋田風力発電視察モデルプラン 2025

【受注型手配旅行】



風力発電のしくみ

風力発電は、風力発電機と呼ばれる設備を使って発電します。
風力発電機の上部に付いている翼（ブレード）に風が当たると翼が回転し、その回転が「動力伝達軸」を通じて「ナセル」と呼ばれる装置の中に伝わります。
「ナセル」の中では、まず「増速機」という機械が、ギアを使って回転数を増やし回転速度を速めます。その回転を「発電機」で電気に変換しています。発生した電気は変圧器で昇圧して電力会社の送電線に送られ、会社や家庭等で消費されます。風力発電所は、一般的には無人で運転されており、安全に効率よく運転できるようにコンピューターを使用して自動制御されています。
風向に合わせて翼の向きを変えたり、台風や暴風、点検時には危険なので翼の回転を止めたりする必要がありますため、ブレーキをかけて回転を完全に停止するといった制御を自動的に行っています。

能代と洋上風力

能代港は年間の平均風力が毎秒7.0～7.5メートル以上になり、風力発電に適した場所です。
能代港沖に20基の大型洋上風力発電機が建設され、発電所の規模は合計84MW（1基当りの発電能力は4.2MW）となります。洋上風力の発電の設備利用率（発電能力に対する実際の発電量）は標準で30%程度になり、84MWの発電設備の場合には年間の発電量が2億3000万kWh（キロワット時）を見込めます。一般家庭の使用量（年間3600kWh）に換算して約80000世帯分に相当します。



この視察で見学できる内容

はまなす展望台（高さ27m・100階段）

能代市湾岸エリア及び八峰町海岸エリアの洋上・陸上風力発電を眺望できます。関係者からの説明で所要30分です。（入場無料）その他、白神山地や男鹿半島、風の松原をご覧ください。

AOW風みらい館（秋田洋上風力発電株式会社）

AOW社プロジェクトの完成模型やケーブル実物に加え、洋上風力発電に関する資料を展示してるPR館です。（土・日・祝休み）

風の松原風力発電所

日本五大松原の一つである風の松原にある陸上風力発電所。高さ119mの風車の真下で事業者等から説明があります。（所要15分）

蓄電池施設

※業務の都合により見学不可の場合あり

蓄電池容量：24.192kwh
災害時に蓄電池から防災拠点へ高品質な電気供給が可能です。風車稼働で2週間以上電力供給が可能となっています。施設内見学と事業者から説明があります。（所要50分・平日のみ）協力：風の松原自然エネルギー株式会社（大森建設グループ）

秋田空港発着2日間プラン

【1日目】 13:00～17:00

秋田空港 ===== AOW風みらい館（PR館見学）・・・ポートタワーセリオン（洋上風力展望）===== 能代市内（泊）

【2日目】 8:45～14:30

ホテル == はまなす展望台（洋上風力展望）== 蓄電池施設（説明会）・風車真下見学 == 市内（昼食）===== 秋田空港

お一人様 32,000円（小型バス利用/12名様参加） 35,000円（ジャンボタクシー利用/6名様参加）

大館能代空港発着2日間プラン

【1日目】 14:30～17:20

大館能代空港 ===== はまなす展望台（洋上風力展望）== 旧料亭金勇（見学）===== 能代市内（泊）

【2日目】 8:30～13:50

ホテル ===== 蓄電池施設（説明会）・風車真下見学 == JAXA能代ロケット実験場 ==（昼食）== 大館能代空港

お一人様 27,000円（小型バス利用/12名様参加） 31,000円（ジャンボタクシー利用/6名様参加）

日帰り 3時間プラン

東能代駅（又は能代駅）===== はまなす展望台 == 蓄電池施設（説明会）・風車真下見学 ===== 東能代駅（又は能代駅）

貸切小型バス（定員25名） 51,480円 ジャンボタクシー（定員8名） 40,950円

※別途、蓄電池施設見学科（お一人様 1,500円）がかかります。

宿泊プラン（1泊ショートステイ）

【1日目】 ===== はまなす展望台（展望15:00～16:00）== 市内風力発電（見学16:15～17:00）== 能代市内（泊）

【2日目】 ホテル ===== 蓄電池施設・風車真下見学（説明会9:30～11:30）===== <昼食>

お一人様 22,000円（小型バス利用/12名様参加） 27,000円（ジャンボタクシー利用/6名様参加）

- 添乗員及びバスガイドは同行いたしません。現地スタッフによる説明となります。
- ご旅行代金について
12名様の場合、小型貸切バス利用、6名様の場合、ジャンボタクシー利用として算出しております。
行程内記載の交通費・昼食代・宿泊代（朝食付き）・入場料・金勇ガイド代（対象コースのみ）・風車、蓄電池施設案内料・消費税・企画手配料金が含まれております。※夕食代は含まれておりません。
※ご参加人数によって、視察費用（旅行代金）が異なりますので、確定しましたら再度見積もり申し上げます。
- ご宿泊について
宿泊地は能代市内 又は 近隣の施設となる場合があります。
- 天候及び道路状況により、時間に変更になる場合がございますので、予めご了承ください。
- その他：ご希望のコースを作成いたしますので、お気軽にご相談ください。

ようこそ NOSHIRO へ

風力発電視察にプラス観光をお楽しみください



旧料亭金勇

木都能代を象徴する木造建築物。国登録有形文化財、天然秋田杉の良材を余すことなく使用した上品な造りの貴重な歴史的建造物です。



能代バスケミュージアム

能代工業高校（現：能代科学技術高校）関連の物はもとより、国内やNBA選手のグッズや、他ではなかなか目にすることができない貴重なグッズを展示しています。館内ではミニフリースローの体験ができます。



風の松原

日本五大松原の一つ。東西1km、南北14km、760ha、東京ドーム163個分で日本最大級の規模を誇るクロマツ砂防林です。風の松原ガイドの会がご案内します。（要事前予約・有料）



能代エナジAMPARK・ねぶながし館

能代火力発電所にあるPR館で、発電所の排熱を利用した「熱帯植物園」などがあり、「ねぶながし館」では、能代役七タの山車や、お祭り囃子、べらぼう風を展示。能代の伝統や文化にふれることができます。



JAXA能代ロケット実験場

沿岸にある、JAXAの付属研究施設の一つ。内之浦から打ち上げられる観測ロケットの地上燃焼試験を行うため、1962年に開設されました。JAXA職員が施設を案内します。（要事前予約・無料）



歴史の町・檜山めぐり

戦国時代の戦うための城造り（檜山城 ※現在は山城跡）や、各殿様（城主）たちの生き方を紹介します。公開されていないお寺や北限の茶畑を、檜山のしろ周辺歴史ガイドの会が案内いたします。（要事前予約・有料）



白神山地（2023年世界自然遺産登録30周年）

秋田県と青森県にまたがる13万㊦に及ぶ山岳地帯「白神山地」。1993年に日本で初めて世界自然遺産に登録された約1万7000㊦のエリア。約8000年前から続くこの原生的なブナの森には、多様な生き物が暮らしています。

■ 岳岱自然観察教育林（能代駅から車で90分）

※10月～11月上旬のみ通行可

ご予約・お問い合わせ

NPO法人能代観光協会

秋田県知事登録旅行業3-140号（一社）全国旅行業協会正会

TEL:0185-88-8802 FAX:0185-88-8803

E-MAIL: welcomenoshiro@shirakami.or.jp

【営業時間】09:00～17:00

【定休日】年末年始

総合旅行業務取扱管理者 珍田泰彦

